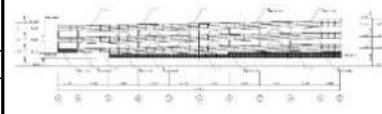


CASBEE あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人藤田学園 第10駐車場立	階数	地上2階
建設地	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番9	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2018年7月12日
敷地面積	2,913 m ²	作成者	長谷川 清
建築面積	2,344 m ²	確認日	2018年7月12日
延床面積	4,691 m ²	確認者	長谷川 清



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆

環境負荷 L (0-100) vs 環境品質 G (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: #DIV/0!
③上記+②以外の: #DIV/0!
④上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性: N.A., 耐用性: 2.6, 対応性: 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の: N.A., 自然エネ: N.A., 設備システ: N.A., 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.7, 汚染物質: 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化: N.A., 地域環境: 2.8, 周辺環境: 3.0

3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">N.A</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 0.0 % 建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{附属物面積}} \times 100$
 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 学校法人藤田学園 第10駐車場 立体駐車場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:
 ■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版
 CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部						全体	
	配慮項目	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点		重み係数
Q 建築物の環境品質										2.4
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル				2.0	-	-	2.0	-	-	
1.2 遮音				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 開口部遮音性能				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 界壁遮音性能				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				2.0	3.0	-	2.0	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				2.0	2.0	-	2.0	2.0	-	
1.3 吸音				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 温熱環境										
2.1 室温制御				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 室温				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 外皮性能				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 ソーン別制御性				2.0	-	-	2.0	-	-	
2.2 湿度制御				2.0	-	-	2.0	-	-	
2.3 空調方式				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 光・視環境										
3.1 昼光利用				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 昼光率				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 方位別開口				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 昼光利用設備				2.0	-	-	2.0	-	-	
3.2 グレア対策				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 昼光制御				2.0	-	-	2.0	-	-	
3.3 照度				2.0	-	-	2.0	-	-	
3.4 照明制御				2.0	-	-	2.0	-	-	
4 空気質環境										
4.1 発生源対策				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 化学汚染物質				2.0	-	-	2.0	-	-	
4.2 換気				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 換気量				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 自然換気性能				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				2.0	-	-	2.0	-	-	
4.3 運用管理				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 CO ₂ の監視				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 喫煙の制御				2.0	-	-	2.0	-	-	
Q2 サービス性能						0.43				2.8
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 広さ・収納性				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 高度情報通信設備対応				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 バリアフリー計画		独自		2.0	-	-	2.0	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 リフレッシュスペース				2.0	-	-	2.0	-	-	
3 内装計画				2.0	-	-	2.0	-	-	
1.3 維持管理				2.0	-	-	2.0	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 維持管理用機能の確保				2.0	-	-	2.0	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.5	2.6	0.52				2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				0.4	3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	2.6	0.33				
1 躯体材料の耐用年数				0.3	3.0	0.25				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②		0.3	2.0	0.25				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			床:コンクリート(30年)、壁:ALC吹付(15年)、天井:デッキ表し(20年)	0.3	4.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				0.3	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				0.3	-	0.17				
6 主要設備機器の更新必要間隔			電灯分電盤:25年	0.3	4.0	0.25				
2.4 信頼性				0.1	2.0	0.19				
1 空調・換気設備				0.1	-	-				
2 給排水・衛生設備				0.1	-	-				
3 電気設備		②		0.1	3.0	0.50				
4 機械・配管支持方法				0.1	1.0	0.50				
5 通信・情報設備				0.1	-	-				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

学校法人藤田学園 第10駐車場立体駐車場

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				N. A
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	2.6	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 学校法人藤田学園 第10馬

計画上の配慮事項	
総合	LED照明の採用により建物の一次エネルギー消費量の削減に配慮した。
Q1 室内環境	対象外
Q2 サービス性能	更新必要間隔が長い部材等を採用し、建物の長寿命化に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし
LR1 エネルギー	LED照明の採用により建物の一次エネルギー消費量の削減に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	特になし
LR3 敷地外環境	燃焼機器の採用による大気汚染抑止に配慮した。
その他	